

桂坂だより 12月

令和7年12月1日(月)
京都市立桂坂小学校
校長 中村 佳明

桂坂だより【カラー版】
行事・学習・活動の様子
HPにて公開中！



学校教育目標
その手で未来を創りあげる 桂坂の子
～かかわる、つながる、そして、かがやく～
合言葉は「キラりんく」



失敗は、挑戦した証だ、って思い合えるクラスがいい

校長 中村 佳明

右の2次元コードを読み取ると、YouTube 動画「日本を、失敗できない国にしない」につながります。一度の失敗で終わりにしてはいけない…、次の失敗を恐れて挑戦することをあきらめてしまえば、何一つなしえることはできない…、そんな願いを込めて制作されています。そう簡単には成功しない、宇宙開発という壮大な事業に取り組むスタートアップ企業のメッセージに、子育てや学校教育、人材育成に通じる大切な考え方があるように思えます。1月中旬までの公開のようですので、それまでにぜひご覧になってみてください。



これからの学力を考える上で参考にされる調査の1つに、OECD（経済協力開発機構）が実施する PISA（学習到達度調査）があります。世界各国の15歳の学生を対象にして、読解力、数学的リテラシー、科学的リテラシーの3分野が測定されますが、我が国の順位は大変高いものでした。

一方で、次のような質問調査も行われています。

#失敗しそうなとき、他の人が自分のことをどう思うのかが気になる

#失敗しそうなとき、自分に十分な才能がないかもしれないと不安になる

#失敗しそうなとき、自分の将来への計画に疑問をもつ

この3つの質問から導き出された指数は極めて高く、「我が国の15歳は他人の目を気にする傾向、失敗を恐れる傾向が強く、自分に自信がない、自信を失いやすいという特徴がある」と分析されています。確かに、所属する集団に対して、「失敗したら笑われる」「失敗したら叩かれる（攻撃される）」と感じていれば、思い切った挑戦はできないし、自己開示することがためられるのも無理はありません。「伝え方がまずければ、炎上してしまうかもしれない」という、インターネット社会ならではの心配も影響しているかもしれません。そもそもわたしたちの国民性とも言える側面、我が国が重視してきた「正解」「結果」「協調」というゆるぎない価値観が、今なお大人にも子どもにも、大きなしほりをかけている可能性も否定できません。

ですから、わたしたちが、

*与えられた「正解」だけでなく、**みんなで「納得解」を見付けよう。**

*すっきりした「結果」だけでなく、四苦八苦、試行錯誤する「過程」「挑戦」に**価値を見出そう。**

*まとまりのある「協調」だけでなく、ちがいの良さが生かされる「協働」を**重視しよう。**

という姿勢に転換することが必要だと考えます。

11月の朝会で、わたしは絵本「しっぱい なんか こわくない」の読みきかせをしました。このお話の最後のページには、主人公ロージーのクラスが描かれているのですが、どの子も実に生き生きと自分の課題に打ち込んでいるのです。こんなふうに、みんなが生き生き過ごせるクラスにするために大事なことは何か、安心できるクラスってどんなクラスかを、「なかよしトーク」で話し合うよう促しました。「なかよしトーク」は、人権課題をテーマに、各学級で話し合う「キラりんく」の取組です。

低学年のあるクラスでは、「**自分でやるときめたことをにちょうせんして、しっぱいしてしまった子がいても、おうえんできるクラスがいい**」という意見が出たようです。友だちからの「がんばれ!」は、きっと大きな勇気、元気につながるでしょう。

中学年のあるクラスでは、「**失敗してもいじられない、バカにされない、何度でもちょう戦できるクラスにしたい**」「**失敗は、ちょう戦したあかしだ、って思い合えるクラスがいい**」という意見が出たようです。人の目が気になりながらも、おたが

いのチャレンジを認め合いたい気持ちがあふれていることがうれしいです。

高学年のあるクラスでは、「**失敗したときに応えんしてくれるふん囲気が広がると居心地がよくなる**」「**失敗を責めない、自分の意見がのびのび言えるクラスがいい**」という意見が出たようです。学校のリーダーである高学年が、こうした前向きで共感力を大切に感じる感覚をもってくださっていることは誇らしいです。

こうした「なかよしトーク」での気づきが、心理的安全性の確保につながり、自己有用感・自己効力感が着実に高まっていくことを期待します。

12月は「人権月間」です。おたがいに「らしさ」を認め合い、誰もが安心して生きられる、誰もが自己実現・社会参画をめざすことができる、そんな社会になるよう、まずは身近な人とのかわりを見つめ直していきましょう。

〈お知らせ〉

〈登下校の安全について〉

寒さが厳しくなるこの季節、防寒具で身を包むことが増えますが、その工夫が安全を妨げる場合があります。特に注意したいのは「視界」と「足元」です。

フードやマフラーで顔を覆うと、左右の確認がしづらくなり、交差点や横断歩道で危険につながることがあります。お子様が深くフードをかぶりすぎないことや、耳まで覆う巻き方を避けることについて、ご家庭でも確認をお願いします。

また、朝の霜や凍結で坂道や横断歩道は非常に滑りやすくなります。桂坂校区は坂が多いため、転倒の危険が高まります。走らず歩いて登校する、これが大原則です。特に信号前で急に走り出すことがないように、何度も伝えていきましょう。歩幅を小さくしてゆっくり歩く習慣や、靴底の状態を確認していただけると安心です。

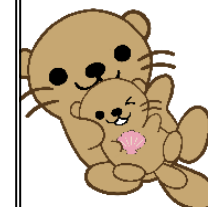
寒い季節も、安全に笑顔で登校できるよう、服装や歩き方についてご家庭で話し合っていただけると幸いです。

〈後期学校評価のためのアンケートについて〉

後期の学校評価のためのアンケートを実施します。保護者の皆様に「我が子の現在の様子」についてご回答いただきたいと思います。回答は、在籍児童ごとにお願ひします。アンケートの回答期間は12月8日(月)から12月19日(金)までとなっています。回答リンクについては、12月8日(月)に「すぐー」にて配信します。ご協力をお願いします。

〈個人懇談会について〉

個人懇談会を12月17日(水)から23日(火)までの期間に行います。短い時間とはなりますが、学校からは成績や学校での様子をお伝えし、ご家庭での様子もお聞きしたいと考えています。先日お配りしました「個人懇談会の日程のお知らせ」をご確認くださいませよう、お願いします。



2025	年			
12	月	行事予定		京都市立桂坂小学校
日	曜	行事予定	部活	保健
1	月	委員会⑥ 町探検2年生	12月はありません	
2	火	キラりんく音楽祭① 町探検2年生 SC 中学校制服採寸15:30~17:00		
3	水	ALT 町別集会⑤集団下校 町探検2年生		フッ化物(1, 3, 5年)
4	木	町探検2年生		フッ化物(2, 4, 6年)
5	金	1, 2年生遠足(京都水族館)		
6	土			
7	日			
8	月	色覚検査③④1年生		
9	火	SC		
10	水	茶道体験②③④6年生		フッ化物(1, 3, 5年)
11	木	放課後学び教室2学期最終日		フッ化物(2, 4, 6年)
12	金	社会見学(サステナ京都) 4年生		
13	土			
14	日			
15	月	ALT		
16	火	SC		
17	水	個人懇談会 4時間授業		フッ化物(1, 3, 5年)
18	木	個人懇談会 4時間授業 'ALT		フッ化物(2, 4, 6年)
19	金	個人懇談会 4時間授業 'かざらっこパーク③④ 安全防災の日		
20	土			
21	日			
22	月	個人懇談会 4時間授業		
23	火	個人懇談会 4時間授業 'ALT SC 本とお話しの会4年生③④		
24	水	2学期終業式 給食終了		
25	木	冬季休業		
26	金	学校閉鎖日		
27	土	学校閉鎖日		
28	日	学校閉鎖日		
29	月	学校閉鎖日		
30	火	学校閉鎖日		
31	水	学校閉鎖日		

SC：スクールカウンセラー来校日 ALT:ALT来校日



1月の行事予定

- ☆1月7日(水) 3学期始業式 給食開始 4時間授業
- ☆1月8日(木) 4時間授業
- ☆1月9日(金) 5時間授業
- ☆1月16日(金) 社会見学3年生
- ☆1月22日(木) 4時間授業(教員研修のため)
- ☆1月23日(金) 5時間授業(教員研修のため)
- ☆1月26日(月) 科学センター学習6年生
- ☆1月29日(木) 校内研究授業(4-2)
- それ以外のクラスは4時間授業
- ☆1月30日(金) 音楽鑑賞教室6年生

授業の様子

3年生 オータムフェスタ出演



1年生 秋のパーティー



5年生 車いすバスケットボール

選手 阪根泰子さんをお迎えして



2年生 町探検



4年生 しいたけ栽培を学ぶ

(JA徳島から苗床をいただきました)



5年生 認知症サポーター養成講座

「キラりんく」の学校を目指して

「いいところ」を友だちと見つけ合う授業



似た意味、反対の意味の言葉を出し合う授業



キラりんく参観・かざらっ懇談会へ多くの方にご参加をいただき、ありがとうございました。
「キラりんく」が教室内に広がっていたでしょうか。自分の「居場所」と「出番」を実感し、
自他の人権を尊重する子にどんどん育てほしい、日々そう願って取組を進めています。
懇談会でも、多くの方々にご参加いただき、和やかな雰囲気の中で短所を言い換えるリフ
レーミングゲームを行いました。今後の懇談会でも、参加しやすい雰囲気づくりを大切にしな
がら進めてまいりますので、ぜひご参加いただきますようお願いいたします。

桂坂の「ほんまもん教育」

教室で学ぶ知識も大切ですが、実際に体験することで子どもたちの心に深く
刻まれる学びがあります。本校では、幼保小連携による異年齢交流、認知症サポ
ーター養成講座、しいたけ農育、車いすバスケットボールの体験など、地域や専
門家と協働した活動を行っています。こうした体験は、五感を通して理解を深め
るだけでなく、社会とつながる力や思いやりの心を育てます。これからも「見て、
触れて、感じる」学びを大切にしながら教育活動を進めていきます。